

しんめいばら

回 覧

第 189 号
2021.1.20

謹賀新年



本年もどうぞ宜しく
お願いいたします。

定期整備！

一月十一日（祝）久しぶりに暖かい朝を迎え、会員十三名の参加により公園整備を行いました。年初に嵐のような強風に見舞われた公園周囲の植え込みや砂場などに大量に溜まった落ち葉の収集や、花壇への施肥などの作業を進めました。十一月に植えたプリムラや葉ボタンなどは早朝零下の気温にも耐えて元気に咲き誇り、日ごろの手入れが功を奏していることを実感しました。休憩時には今年のお正月はお孫さんたちが帰省出来ず、寂しい幕開けとなった話が行き交いました。

ごんご焼き！

一月十日（日）昨日までの強風が収まった公園にて恒例のどんと焼きの行事が行われました。昨年来、自治会行事がすべて中止となり、この日も首都圏に緊急事態宣言が発令され、市内も感染拡大傾向が続くため、三密を避け、餅つきやお汁粉などの振る舞いはすべて中止としながら正月飾りや書初めを焼くことのみが行われ、今年こそコロナ禍が収束し、暮らしやすい良い年となることを切に念じて短時間で終了となりました。



コロナ禍収束を願って！

豆知識！

『花好きの日本人』

江戸が明治に代わる八年前、すでに一部の国に開国していた日本へ来たイギリス人の植物収集家は、先ず長崎港の美しさに感嘆し、上陸して裕福な人びとから庶民に至るまで日本ではだれでも花を育てることを楽しんでおり、また田園風景は美しく「日本の田畑は園芸だ」と言わしめた。風景、親切で穏やかな人情とともに驚

きの目を見張ります。

当時、

江戸の

染井村



アオイの実（1月）

（染井吉野発祥の地）などは、世界に類のない大規模な植木のまちであると、園芸のレベルの高さに、日本を見る目が変わったといえます。その植物収集家は、日本の珍しい植物をたくさん自国の植物園のために持ち帰りました。その中にアオキの雄（おす）木があり、それまで雌（めす）木だけしかなかったイギリスで冬に美しい実を見ることができるようになったのです。

今日の公園！



プリムラマライデス！



お知らせ！

○ 二月の公園整備は七日（日）です。花壇整備、施肥、除草、落ち葉清掃、などの作業を行います。

○ 二月の回収、ピン・缶は二十三日（祝）、古紙は二十八日（日）です。自治会の回収活動にご協力下さい。

○ 高松神明原公園愛護会は現在十九名の会員により公園の美化活動に取り組んでいます。自治会員に限らずどなたでも入会が出来ますので、ぜひご参加下さい。

連絡先・二三七五一八一 山本まで